

受験上の注意

<試験場の下見について>

- 試験場の下見は、外から建物を確認することは可能ですが、建物内（校舎等）への立ち入りはできません。

<出願について>

- 全入試区分ともインターネット出願サイト（以下、出願サイト）を利用して出願を行います。
- 「出願手続」（P.54～）を確認してください。
- 一度受理した書類の内容（志望学部・学科、入試区分、試験地等）の変更は一切認めません。**
- 出願書類に不備等があった場合は、志願票の連絡先欄に記載されている電話番号またはメールアドレスに連絡をすることがあります。

第二・第三志望制度について

特待奨学生特別選抜、一般選抜（前期／後期）、および大学入学共通テスト利用選抜では、第二・第三志望制度を設けています。1つの入試区分で第三志望学科までを選択して出願することができる制度であり、第一志望学科で合格基準に達しなかった場合に、第二志望学科、第三志望学科で再度合否判定を行います。

- この制度を利用するために新たに入学検定料がかかることはありません。
- 特待奨学生を選抜する入試（特待奨学生特別選抜、一般選抜前期、大学入学共通テスト利用選抜）においては、第二・第三志望学科で成績上位合格者になると、特待奨学生として選抜されます。
- 上位志望学科で合格となった場合、下位の志望学科の合否判定は行いません。

【第二・第三志望学科の選択について】

原則として第一志望学科と同一学部内に限り、第二・第三志望学科を選択できます。

なお、成田看護学部と成田保健医療学部、薬学部と福岡薬学部では、両学部から第二・第三志望学科を選択することができます。

第一志望学科の学部	第二・第三志望学科の選択方法
保健医療学部	保健医療学部の6学科の中から選択できます。
医療福祉学部	第二・第三志望制度は実施しません。
薬学部	福岡薬学部 薬学科を第二志望学科として選択できます。
成田看護学部 成田保健医療学部	両学部の6学科の中から選択できます。
赤坂心理・医療福祉マネジメント学部	赤坂心理・医療福祉マネジメント学部の2学科の中から選択できます。
小田原保健医療学部	小田原保健医療学部の3学科の中から選択できます。
福岡保健医療学部	福岡保健医療学部の3学科の中から選択できます。
福岡薬学部	薬学部 薬学科を第二志望学科として選択できます。

<受験票について>

- 受験票の郵送はしません。出願サイトの「マイページ」から受験者が各自で印刷してください（インターネット出願の詳細はP.54～参照）。
- 受験票は印刷後に記載事項を必ず確認し、出願した内容と異なる場合は速やかに入試事務統括センターに問い合わせてください。
- 試験当日は、受験票を必ず持参してください。試験場入口や試験室内にて確認します。受験票は休憩時間に試験室を出る際も必ず携帯してください。

<試験当日の注意事項>

- 入室終了時刻までに受験番号で指定された席に着いてください。**入室開始時刻よりも前に試験場に入ることはできません。**
- 原則として、試験開始後20分以上遅刻した場合（個人面接については指定された集合時間から20分以上遅刻した場合）はそれ以降のすべての科目を受験することができません。ただし、公共交通機関の遅れが原因で遅刻した場合には、遅延証明書の提出により受験を許可します（自家用車の場合は遅刻しても受験は認められません）。
- 試験中、机上には受験票のほか筆記用具（HBの黒鉛筆・シャープペンシル・プラスチック製消しゴム）、携帯鉛筆削り、時計（辞書や計算・通信等の機能があるものを除く）、メガネのみ置くことができます。時計のアラームは使用してはいけません。ストップウォッチは時計として使用しても構いませんが、音の出るものは使用できません。また、辞書や計算・通信等の機能の有無が判別しづらいものについては、監督者が確認をすることがあります。
- 風邪等の理由でハンカチやティッシュペーパーの使用を希望する場合は、机の上に置くことができます。なお、ティッシュペーパーを使用する場合は、袋から中身を取り出して机の上に置くようにしてください。また、ひざ掛けや座布団を使用しても構いません。
- 試験室には時計がないことがあります。また、試験時間の管理は監督者の時計で行います。
- 試験中、スマートフォン・携帯電話・ウェアラブル端末・音の出る機器等は必ず、アラームを解除してから電源を切り、かばん等にしまってください。身につけて受験することはできません。また、時計としての使用も認めません。試験当日の携帯電話等の取り扱いについては、監督者の指示に従ってください。**
- 本人確認の際は、マスクを外してください。
- 耳せんは、監督者の指示等が聞き取れないことがありますので使用できません。
- 個人面接で物品を使用することはできません。
- 試験中の着帽は原則として認めません。また、英文字や格言、地図等がプリントされている服等は着用しないでください。着用している場合には脱いでいただくことがあります。
- 入室終了時刻から試験終了までは、退室できません。

受験上の注意

- 試験場内では、監督者の指示に従ってください。
- 試験当日の昼食はできる限り持参してください。
- 各試験場とも上履きを持参する必要はありません。
- 原則として受験者以外は、試験室のある校舎やフロア等への立ち入りはできません。また、各試験場には付添者の控室を設置しません。
- 大田原試験場、大川試験場以外は試験当日に利用できる駐車場はありません。

合否通知等の勧誘に注意してください

試験当日に最寄の駅付近や試験場付近で合否通知等についての勧誘や印刷物の配付をする者がいますが、これらは本学とは全く関係のないものであり、本学は一切の責任を負いません。本学の職員あるいは学生を装う悪質な者もいますので十分注意してください。

<感染症に関する注意事項>

- 試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に罹患し治癒していない者は、他の受験者や試験監督者等へ感染のおそれがあるため、原則として受験をご遠慮願います。ただし、病状により学校医その他の医師が感染のおそれがないと認めたとときは、この限りではありません。
- なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、原則として追試験や入学検定料の返還は行いません。

<身体等の障害に伴う受験上および修学上の配慮について>

- 疾病や身体等の障害等のある志願者で、受験および修学に際して特別な配慮を必要とする場合は、必ず**出願期間開始日の10日前まで**に入試事務統括センターに連絡し、配慮内容等を事前に相談してください。また、本学ホームページ内受験生応援Navi「身体等の障害に伴う受験上および修学上の配慮について」から受験上および修学上の配慮申請書をダウンロードし、必要内容を入力して提出してください。
 - 出願サイトの「マイページ」で、所定欄に受験上および修学にあたって必要とする配慮内容を具体的に入力してください。なお、入力された内容について医師の診断書等を提出していただく場合があります。
- ※ 日常生活において使用している補聴器、杖、車椅子等を試験当日に使用する場合も、状況に応じた配慮を必要とすることがありますので、必ず期限までに連絡してください。



<試験当日の無料送迎バスについて>

大田原試験場のみ

- 試験当日は、大田原試験場のみ無料送迎バスを運行します。JR「那須塩原駅」（東口）と大田原試験場の間を往復運行します。当日の運行時刻については本学ホームページ「受験生応援Navi」（<https://admissions.iuhw.ac.jp/exam/>）を確認してください。入試区分によっては運行しないこともありますので、注意してください。

